

.....

.....

.....

1

9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。
---	-----------------

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[35]歳、 勤続年数[12]年、 現場経験年数[11] 年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢[31]歳、 勤続年数[8]年、 現場経験年数[6]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [機関員]
○当事者 C	年齢[19]歳、 勤続年数[2]年、 現場経験年数[1]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A・B・C	交通事故現場へ救急出動した。	
経過 2	当事者 A・B・C	傷病者 4 名を車内収容した。	
経過 3	当事者 A・B・C	傷病者 4 名の観察処置を実施した。	
経過 4	傷病者家族	電話連絡を受け、事故現場へ駆けつけた。	
経過 5	傷病者家族	事故の原因となった傷病者 A に強い口調で詰め寄った。	
経過 6	傷病者 A	着ていた作業衣の胸ポケットからカッターナイフを出し自分の首を切りつけた。	
経過 7	当事者 A	交通整理をしていた警察官に応援を求めた。	
経過 8	当事者 B・C	他の傷病者 3 名を車外へ避難させた。	
経過 9	傷病者 A	再度自分の首を切りつけた。	
経過 10	警察官	カッターナイフを払いのけた。	

【その事例発生時の状況について】

● ●

○負傷事故の場合：負傷事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。集中力、注意力があった。避難・退避がうまくいった。指揮者が適切に指示した。他隊(員)との連携活動がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・ 活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・ 体調が悪かった。	いいえ
・ 悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狭隘な場所であった。	いいえ
・ 暑かった（寒かった）。	いいえ
・ 野次馬が多かった。	いいえ
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・ 指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・ 隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ	
-----	--